

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		KID ACADEMY PURE 和合校 (放課後等デイサービス)		公表日		2026年 3月 12日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	併設する児童発達支援事業所と連携し、活動内容に応じて柔軟に活用できる「多目的共有スペース」を整備しております。広々とした空間を確保することで、運動プログラムや集団レクレーションを安全に実施できる体制を整えており、お子様ののびのびとした活動を促進しております。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	・子どもの状態に応じて、職員が付き添うなどの配慮や対応を行っている。 ・法律に基づいた配置人数で運営しています。	今後も、お子さまの状況に応じてすぐに対応できるように職員の立ち位置や声掛け等を配慮していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	年1回以上は現在の環境について見直しを行い、常により良い空間を目指している。	建物の老朽化から修繕が必要となる箇所があるので計画的な修繕を検討していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・毎日の掃除、玩具の消毒に取り組んでおり、定期的に換気も行っている。 ・安全計画に基づいて定期的に清掃や環境設定を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	面談室や多目的室を使用し、宿題や個別プログラム、パニック時のクールダウンスペースを確保している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0		日々のミーティングに加え、個々の職員が自身の支援目標と振り返りを発表・共有する「事例検討会」を定期開催いたします。全職員がPDCAサイクルに主体的に参画することで、個人の気づきを組織全体の専門性向上へと繋げ、支援の質の平準化とボトムアップを図ってまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		第三者による外部評価を行っていないため、今後は必要に応じて検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	リスキリング研修や放課後連に参加し、新しいスキルや知識を習得している。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0			

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	立案担当者を中心とし、毎月の事業所内会議でプログラム内容を掘り下げている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	5領域の視点と組み合わせたカリキュラムを作成し、それを参考にプログラムを立案している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	毎朝の申し送りで見聞交換や情報共有を行い、全職員が共通理解をして支援できるよう努めている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	送迎終了後に職員間で反省点や良かった点を会話の中で共有しつつ、緊急性や重要性の高い内容についてはその場で速やかに共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育むための支援を行っているか。	5	0			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	毎月、利用予定表を各学校へ配布している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	特に同法人が運営する児童発達支援とは、切れ目のない支援を目的に連携を図っている。	同施設内の児童発達支援事業所の情報を職員間で共有しており、今後も継続して連携していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	必要に応じて情報を提供している。	相談支援事業所への情報提供を行っているため、その旨を今後も、全職員へ共有していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		地域の児童発達支援センターとは現在、連携ができていないため、必要に応じて研修機会を設けるよう検討していきます。

	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	4	1		プログラムとして地域施設のイベントへ参加しています。今後は、ニーズに応じて事業所主催のイベントへの招待等を検討していきます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	放課後連の研修に参加し、必要な情報等は全職員へ共有している。	協議会への参加者が固定されているため、他職員にも参加してもらえるよう声掛けをしています。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		明確な家庭支援プログラムとしては行っておりませんが、今後は、環境整備をしていくとともに必要に応じて実施できるよう検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	3	夏祭りなど、大きなイベントにおいて保護者等を招待するなどしています。	毎年夏祭りや運動会等で保護者様との交流の機会を設けています。また、今後はオンラインでの保護者会を検討しています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
保護者への説明等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	1	従来の紙媒体による温かみのある情報発信に加え、ICTシステム「HUG」を用いた迅速な活動報告および連絡体制の運用を開始いたします。写真や詳細なエピソードを添えたリアルタイムな発信により、保護者様がお子様の様子をより鮮明にイメージでき、いつでもどこでも確認できる利便性の高い情報公開を推進してまいります。	今後はHUGでの活動記録や保護者様への連絡等を検討しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		地域に根ざした事業所を目指し、今後はボランティアの受け入れ体制の整備や、近隣施設との交流プログラムを計画しております。外部との多様な接点を創出することで、お子様の社会性の向上を図るとともに、地域社会における障害福祉への理解を深める啓発活動にも積極的に取り組んでまいります。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	毎月の避難訓練により、緊急時の迅速な対応力を維持しております。あわせて、災害時や感染症発生時にも支援を継続するための「業務継続計画(BCP)」の策定を完了し、現在はその実効性を高めるための職員シミュレーションを定期的実施しております。常にお子様の安全を最優先に考えた、強固なリスク管理体制を構築してまいります。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	職員が速やかに対応できるよう、一覧表を作成し棚へ保管している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		